

平成3年度 和歌山県文化功労賞

きの した みよこ 木 下 美代子

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県那賀郡桃山町

生 年：明治42年

◎業績及び経歴

県立粉河高等女学校を経て、東京女子高等師範学校(現、お茶の水女子大)に入学。在学中より、歌人尾上柴舟に指導を受け、昭和3年、歌誌「水甕」に入社、作歌活動を開始した。

昭和5年、東京女高師を卒業後、郷土の教育界に帰任し、和歌山市立第一高等女学校、貴志川中学校、信愛女子短大附属高校、信愛女子短大等に勤務、女子教育に貢献した。

歌人としては、37年から「水甕」運営委員をつとめ、「水甕」全国各支社への講演活動を行うなど、中央歌壇においてさかんな活動を続けている。

31年から、毎日新聞「紀州歌壇」選者をつとめ、44年からは、歌誌「冬芽」を主宰するなど、和歌山県における短歌の普及向上に貢献した。

その歌風は、師柴舟の継承者として、研ぎすまされた感性の輝きにあふれ、無償の愛に裏打ちされた高潔なやさしさと誇りをもっている。

■現在

「水甕」運営委員・選者・幹事

日本歌人クラブ委員

和歌文学会会員

現代歌人協会会員

和歌山県歌人クラブ委員長を経て、現在常任委員

和歌山文化協会副会長を経て、現在常任幹事
文芸誌「燔祭」同人

■主な作品

歌集「故園低唱」(H3、不識書院)他多数

著書「佐藤春夫の短歌」(S51、短歌新聞社)
他多数

■主な表彰歴

昭和44年 水甕賞

昭和58年 和歌山市文化功労賞